

令和4年5月27日
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

民間競争入札実施事業
「安全・ミッション保証に係る ESA/NASA/JAXA 三極会合支援業務」
の実施状況について

I. 事業の概要

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」という。）の安全・ミッション保証に係る ESA/NASA/JAXA 三極会合支援業務(以下「本業務」という。)については、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）」に基づき、公共サービス改革基本方針に従って民間競争入札を行い、令和2年から以下の内容にて業務を実施している。

1. 委託業務内容

本事業は、JAXA が研究開発業務における安全確保及びミッション達成のために行う活動に関する ESA/NASA/JAXA の協力（ESA/NASA/JAXA 三極会合及び TRISMAC）についての関係機関との調整について職員の業務の支援を行うものである。

2. 業務委託期間

令和2年4月1日から令和5年3月31日(3年)

3. 受託事業者

有人宇宙システム株式会社

4. 実施状況評価期間

令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間

5. 受託事業者決定の経緯

「安全・ミッション保証に係る ESA/NASA/JAXA 三極会合支援業務」における民間競争入札実施要項に基づき、入札参加者（2者）から提出された提案書について、実施要項に定める技術評価専門部会(令和2年3月10日開催)において審査した結果、評価基準を満たしていた。なお、入札説明会参加は3者、仕様書等受領及び入札は2者であった。

令和2年2月10日に開札、2者とも予定価格範囲内での応札であり、総合評価を経て上記の者が落札した。

II. 確保すべき質の達成状況及び評価

民間競争入札実施要項 2. (5) に定めた、民間事業者が確保すべきサービスの質の達成状況に関する当機構の評価は表 1 のとおり。

表 1：サービスの質の達成状況に関する当機構の評価

評価事項	測定指標	評価
JAXA 内準備会合支援	民間競争入札実施要項・別添 1 調達仕様書に定めた内容に沿って本業務を適切に行うこと。 ※仕様書記載の会合数 2020 年度 9 回／2021 年度 6 回	三極会合対応計画にそって進捗確認等を行い、JAXA 内準備会合を開催。資料準備や会議進行、議事録作成等によって適切に運営を支援し、確保されるべき質を達成した。 (会合実績：2020 年度 9 回／2021 年度 6 回)
事務局の NASA/ESA 調整支援	同上 ※仕様書記載の会合数 2020 年度 8 回／2021 年度 6 回	三極会合対応計画に沿って、NASA/ESA 事務局とのテレコン調整支援（調整事項整理、調整参加、議事録作成等）を行い、理解齟齬やアクション漏れ等を発生させず、確保されるべき質を達成した。 (会合実績：2020 年度 8 回／2021 年度 6 回)
タスクフォース／ワーキンググループ等支援	同上 ※仕様書記載の会合数 2020 年度 1 回／2021 年度 5 回	タスクフォース／ワーキンググループにおける NASA/ESA 担当者との協議を支援（資料作成、テレコン参加、議事メモ作成等）し、理解齟齬やアクション漏れもなく、確保されるべき質を達成した。 (会合実績：2020 年度 1 回／2021 年度 5 回)
三極会合現地支援	同上	2021 年 6 月に開催した三極会合に際し、計画に沿って技術支援（討議支援、JAXA 向け議事録案作成、開催結果・課題等をまとめた報告書案の作成、開催国とのロジ調整等）を実施し、NASA/ESA から円滑な会議運営に謝意を示されたことから、確保されるべき質を達成した。
TRISMAC2021 企画支援	同上	2021 年 5 月に開催した国際シンポジウム TRISMAC (Trilateral Safety and Mission Assurance Conference) に際し、企画検討、国際調整及び会議運営を支援し、NASA/ESA をはじめ参加者からも円滑な運営を評価する声が挙がるなど、確保されるべき質を達成した。
業務引継ぎ		民間事業者の変更がないため引継ぎは不要であった。

III. 実施経費の状況及び評価

1. 実施経費

○従来（平成 26 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）

・契約額：324,410,000 円（税抜）

単年度平均：108,136,666 円（税抜）

（上記のうち、本契約に該当する業務の経費）

・契 約 額：¥10,378,686 円（税抜）

単年度平均：¥3,459,562 円（税抜）

○今回（令和 2 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）

・契 約 額：¥15,700,000 円（税抜）

単年度平均：¥5,233,333 円（税抜）

市場化テスト実施前の契約額のうち、本契約に該当する業務の経費は増加している。

表 2 に市場化テスト実施前および今回の会合数比較を示す。

「今回」には計画値を含むものの、合計会合数は減少している。

業務量は会合数のみでは比較できないが、市場化テストの適用に伴う経費削減効果は認められない。

表 2：会合数比較

	JAXA 内 準備会合	NASA/ESA とのテレコン	タスクフォース 会合	3 会合 合計
1. 平成 26-28 年度契約				
(1) 平成 26 年度	6 回	12 回	不明 (*1)	18+ α 回
(2) 平成 27 年度	6 回	12 回	2 回	20 回
(3) 平成 28 年度	6 回	12 回	2 回	20 回
合計	18 回	36 回	4+ α 回	58+ α 回
2. 今回				
(1) 2020 年度	9 回	8 回	1 回	18 回
(2) 2021 年度	6 回	6 回	5 回	17 回
(3) 2022 年度（計画）	6 回	9 回	6 回	21 回
合計	21 回	23 回	12 回	56 回

(*1) 3 つのタスクフォースを支援した記録があるものの、会合数の記載なし。

IV. 総合評価

令和 2 年度・3 年度とも確保すべきサービスの質に達した。

本業務を市場化テストの終了プロセスに照らし合わせると、以下のとおりである。

- ① 事業実施期間中に、受託民間事業者が業務改善指示等を受けたり、業務に係る法令違反行為等を行ったりした事実はなかった。
- ② JAXA において、実施状況について外部の有識者等によるチェックを受ける仕組み（評価委員会等）を備えている。
- ③ 3 者が説明会に参加、2 者応札となった。より多くの民間事業者に入札参加を促すなど、競争性の確保・向上に努める。
- ④ 対象公共サービスの確保されるべき質に係る目標は達成している。

- ⑤ 市場化テスト実施前との比較において、経費削減に係る効果を認めることはできない。

V. 今後の事業

1. 今後の競争性確保のための検討

平成 28 年度までは、業務内容の見直し・具体化を随時進めたにも関わらず 1 者応札が続いていた。市場化テスト対象となった平成 29 年～31 年度契約では、複数年度化、実施要項への記載内容具体化などの市場化対策を行ったにもかかわらず、1 者応札となった。主な理由は「本事業の業務が多岐に亘り、保有リソースの質・量に照らすと求められるサービスを全て提供することは困難」、「業務量が多く、対応が困難」等が考えられたため、令和 2 年度～5 年度の契約は三極会合支援業務を分割したところ、2 者入札となった。応札者の増加は契約分割の効果と見るのが妥当と考える。他方、過剰なコスト圧力はサービスの質の低下を招きかねないため、質にかかわる要求事項は明確化したうえで競合環境を作るよう努める。

2. 今後の本業務の在り方について

競合環境は実現したものの、業務内容等に更なる工夫を施して経費削減効果を生み出せる可能性もある。市場化促進の趣旨を鑑み、本業務次期においても引き続き市場化テストを実施することとしたい。

以上